宮浦指導部の春闘アピール。諏訪川沿いに立ち、人びとに呼びかけ。

発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番 ③3034番
編集兼発行人　山下　開
半年間1,200円　送料共

春闘第一波は時限スト

石炭政策の見直しを

独自要求もかかげ　九州地区行動に参加

三池労組は、春闘共闘会議の統一要求（大要は既報）とともに、▼石炭産業政策の真の見直し、▼交渉権の確立と賃上げ・労働条件の向上などの要求を掲げ、三月三十日全山時限ストライキ（一時間五十分）をうち、この日行われた九州ブロック統一行動に参加した。

三月三十日三池労組は、春闘第一次の全山各方一時間五十分のストライキを行なった。

同時にこのストライキは、その日行なわれた九州ブロックの統一行動への参加ともなった。

もともと今年の春闘は、国民生活を苦しめている現在の経済危機を救うという、重大な課題をになっている。それは同時に、石炭産業を守るための、真の石炭政策の樹立にも通じているところから、炭鉱労働者にとってはひときは重要な問題となっている。

事実炭労の指示（三月二十四日発）は、その闘争指標に述べている。

「(1)石炭政策の見直しと、資源活用法案（社会党から提出された）の実現。

(2)北炭再建、夕張新二鉱の鉱名延長、閉山阻止……など。これらの指標にもとづいて、炭鉱は三月上旬に各山から組合員を動員、中央で国会や政府の関係機関、関係企業などに向けて要請行動を行なう。

でも、壁も厚い。すでに知られているように、住友系の炭鉱で、①生産を良炭層に集約。②能率向上をはかる。③操業日数をふやす。④諸労働条件の切り下げ――などの合理化案が指示された。いよいよ、石炭政策の真価が問われている。

三月三十日大牟田地域の労働者は、福岡県評の呼びかけにこたえて、ストライキ（たとえば三池労組など一時間五十分の全山時限スト）や職場集会などをもって、九州ブロック統一行動に参加した。

九州ブロック統一行動の指標は①未組織労働者の賃金引き上げ、②原子力船〝むつ〟の母港化反対、③沖縄新基地法案反対、だった。なお前日の二十九日、大牟田地区春闘共闘は、午後五時から雨の中大牟田市役所前で春闘決起大会を開き、翌――三十日の九州ブロック統一行動を成功させることを誓い合った。

炭労、中央行動へ

石炭政策見直しなど要求

炭労は四月四日から六日まで、北海道や九州の各ヤマから組合員を中央に動員、国会や政府の諸機関・関係会社などへの要請行動をくり広げる。

指標は石炭政策の真の見直しと社会党が国会に提出している「資源活用法案」の実現を目指している。現在の石炭政策は、すでに石炭産業を危機に追いこんでいるときだけに、中央行動はその意義をいっそう重くした。それは、全国民の問題となっている。

おわび

つごうにより、本号には「原告団」のページが掲載できませんでした。記しておわびいたします。

編集部

10日五万人決起集会

生活防衛に県民結集

四月十日福岡市の東公園に五万人の労働者を集め、「県民生活防衛、春闘・参院選勝利、総決起集会」が開かれる。

日本社会党福岡県本部と、日本共産党福岡県委員会、県民春闘共闘会議の共催で、このような共同行動、統一行動を発展させながら、春闘と参院選での勝利を期そうというのである。

不況は長期化、ロッキード疑獄事件、日韓癒着などの問題は、自民党政治がいかに腐敗しているか、また今日の国民的危機をいかに打開する能力をもたないか、ということをすっかりさらけだしている。それを反動的な政治経済の「再編成」、ファッショ的抑圧できぬけようとしており、も早や許せない段階に立った。

30日九州で統一行動

前日、大牟田では決起集会

雨の中の大牟田決起集会

知恵のくらしの

▼…春。道ばたで、野山で、木や草の若芽がいっせいに萌え出てきました。そのなかには、たくさんの薬用植物がかくれています。

そのなかから、今回は特に高血圧症と心臓病に卓効があるとされているものを拾って、紹介します。

×

▼…まず高血圧症や動脈硬化の治療・予防に関するものから見ますと、ドクダミ、ヨモギ、クコ、桑の葉、などがあります。それらを毎朝ミキサーにかけ、フキンなどでしぼる。水を適宜加えて生汁をつくり、コップ一パイづつ飲むのです。

青くさくて飲みにくい人は、リンゴやミカン類、あるいは蜂密などを入れて飲めばよいでしょう。

リンゴ自体、血圧降下剤としてなくてはならぬもの。また松葉をかじって汁だけ飲むのも、効があるとされています。もちろん、繊維の分は、はき棄てます。

それに、ハブ茶（漢方薬局にある）の常用をおすすめします。

高血圧症などに自生薬草を

▼…次に心臓病に卓効のあるものでは、ハコベの煮汁がまずあげられます。要領は、右の高血圧症の場合を参考にしてください。ハコベは、別に歯の保険、肝臓や腎臓の強化、緩下剤、利尿剤にもなります。

タンポポもあります。全草を乾かして、一日の量十グラムを煎じて服用します。

×

とにかくハブ茶を除けば、ほとんど田ンボ道や野山に自生するものばかりで、たやすく採取できるのですから、散歩など大いにやって、さがしまわることです。